智

北海道旭川永嶺高等学校
第１年次　　年次通信　第　６　号
発行日　平成３０年５月１８日　　文責　中島

宿泊研修を終えて

国立大雪青少年交流の家での３日間の宿泊研修を無事に終えました。校長先生の団長挨拶のお話しの通り、みんなが「頭」「体」「心」を使って真剣にお互いに気遣いながら動き、考えた研修となりました。

「将来についてのイメージが明確になりました。」（研修の感想より）

学校生活、進路、科目選択などのガイダンスは長時間に渡りましたが、メモをとったりして大切なことを吸収し自分なりに考えてみようという姿勢が見えました。２年次の科目選択決定の期限が間近にせまってきましたので、時間は短いですができるだけ具体的に進路を考えていきましょう。不明な点は先生に相談してください。

「ドッジボールではみんなで楽しく、笑い合ってプレーできた。」「合唱でクラスのみんなと絆ができました。そして、どのクラスも上手だったと感じました。」

こういったコメントが多かったのが印象的でした。何よりも先生達が嬉しかったのは、喧嘩したり、もめることもなく周りを気遣いながらもそれぞれが一生懸命に取り組んだみんなの姿でした。

「毎日の勉強が大切だとあらためて感じた。」「周りをしっかり見て行動することの大切さを感じました。」「エンカウンターでは話したことのない人の気遣いが嬉しかった。」

物事を進めていく上で大切なことが、「やり方（Doing）」と、人としての正しい存在の仕方、つまり「あり方（Being）」です。やり方やルールを覚えることはもちろん大切ですが、それをどういった気持ちで使うのか守るのかということも重要です。どちらもしっかり意識できる年次だと思います。**「やり方（Doing）」、「あり方（Being）」の両方を磨いていきましょう！**

研修5 ドッジボール結果

	優勝	２位	３位	４位	５位	６位
男子	１組	４組	６組	３組	２組	５・７組
女子	１組	６組	２組	７組	３組	４・５組

研修 10 合唱コンクール結果

最優秀指揮者賞：剱地　咲良
最優秀伴奏者賞：藤　　悠人

最優秀賞	優秀賞
６組	４組

※スタディサポートの個人診断レポートを研修 12 で渡しました。この冊子の中の「弱点克服ワーク・ドリル」は個々に合わせて無駄なく弱点を補強できる問題になっています。部活動などで忙しい人もいると思いますが、だからこそ、効率よく学習を進められるこういった教材を大切にしていきましょう。**５月 21 日（月）提出**です。

☆来週の行事と時間割☆

日	曜	行事等	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
２１	月	第１回 PTA 合同委員会							
２２	火								
２３	水	水原市交流報告会							
２４	木								
２５	金								